

[第664回 大阪放送番組審議会議事録]

1. 開催日時 令和6年2月14日(水) 午後2時00分～3時00分

2. 開催場所 大阪放送 大会議室

3. 委員の出欠 委員の総数 6名

出席の総数 6名

出席委員の氏名 成瀬 國晴 河内 厚郎
たつみ 都志 鎌田 雅子
内田 透
上林 寛和(書面参加)

放送事業者側出席者の氏名

吉野 達也 志知 直哉
上野 慶子 宇佐見 健太

4. 議題

1) 番組審議 『土曜の午後は、トコトンほんこん!』

2) 「民放連 放送基準」一部改正に伴う大阪放送放送基準の変更について

3) その他

5. 議事の概要

議題1) 『土曜の午後は、トコトンほんこん!』について、番組の企画意図と内容を説明し、審議に入った。

社側 メインパーソナリティーを務めるほんこんさんが、さまざまなジャンルの話題を、トコトンしゃべりつくします。開局65周年のキャッチフレーズ「65歳。もう、好きにやります。」を掲げたラジオ大阪が、元気な“還暦オヤジ”60歳のほんこんさんと、すべての大人たちにエールを込めて“好きに”お送りする明るい情報バラエティです。今回審議していただく内容は、2024年1月20日(土)の放送を編集したものです。ご審議のほど、よろしくお

願ひ申し上げます。

<各委員のご意見>

委員 番組全体を通して、言葉遣いが粗雑で品がなく、発言と内容にも不適切なものがある。ラジオで放送する番組ではないと私は考える。

委員 ほんこんさんの考え方に賛同できないリスナーは離れていくと思う。アシスタントにほんこんさんの反対意見を言える人を1人入れるなど、バランスを取った方が良い。

委員 ほんこんさんを凄いなと感じた所は、人のフルネームがスラスラと出てきてエピソードも事細かに覚えていらっしやること。還暦でここまで記憶力が良い人は中々居ないのでは。コメントの切り口や話が脱線しても自然と本線へ戻っていく所など、喋り芸人としてのセンスを感じた。

委員 ほんこんさんの良さを生かすことができる、ほんこんさんに合った番組構成。心さんの返しも、いいなと思う場面が随所にあった。「忘れがたき人たちは、番組の中で一番面白かったコーナー。改良の余地はあると感じたが、全体的には楽しく聴かせて貰ったし、ほんこんさんらしさ、ほんこんさんの味がさらに生かされる番組になっていけばと思う。

委員 ほんこんさんの個性が前面に出ている番組。パートナー2人は大人しいが、ほんこんさんが強いのでバランスは良い。所々、3人（内輪）でずっと笑っている場面があり、気になった。そこを抑えればもっと良くなると思う。

委員 よくほんこんさんを起用したなというのが第一印象。朝にこのトーンの声聴くとしんどいが、土曜の午後という時間帯は合っていると思う。番組が始まって4か月が経ち、こなれてきた頃だと思う。これからが楽しみな番組。

社側 貴重なご意見、ありがとうございました。

議題2) 「民放連 放送基準」が一部改正されるのに伴い、大阪放送放送基準の変更が諮問され、「妥当である」との答申があった。

以上

な し

7. 審議会の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表内容・方法及び年月日

- ・「番組審議会だより」（第664回大阪放送番組審議会議事録の要約）
「ラジオ大阪番組審議会レポート」内で放送
放送日 令和6年3月17日（日）17時40分～17時45分
- ・「番組審議会だより」（第664回大阪放送番組審議会議事録）
ラジオ大阪ホームページ（<http://www.obc1314.co.jp>）に掲載
- ・ 番組審議会の議事録の原本は事務局立ち会いのもと閲覧に応じる。

8. その他の参考事項

訂正放送または取り消しの放送の請求及び請求に対しての措置が無い旨を報告。

以上